

# 日本遺産「里沼」ステップアップ講座 (全3回)

## 「徳川四天王榊原康政と館林城」

日本遺産「里沼」を支えるランドナビゲーター人材の発掘・育成を目的として「徳川四天王榊原康政と館林城」をテーマに構成文化財の現地学習講座を行います。



善導寺(榊原康政の墓)



善長寺(榊原忠次の母・祥室院殿の墓)



尾曳稲荷神社(館林城絵馬)

### 《対象》

里沼をまちづくりに活かしたいかた 先着20名

※既存ボランティアやガイド団体等に参加したことがないかた

### 《申込み方法》

4/10(月)9:00～

下記までお電話

0276-76-7651

(市史編さんセンター)

## 第1回 「徳川四天王に学ぶ館林城下町のまちづくり戦略」

■ 5月14日は榊原康政の命日です。講座終了後に、構成文化財・群馬県指定史跡「榊原康政の墓」の墓参と解説も行います。

- ・日時=令和5年5月14日(日) 14:00～15:30
- ・会場=館林市楠町 善導寺 ※現地集合
- ・講師=館林市史編さんセンター 岡屋 紀子
- ・参加費=500円(資料代ほか)



## 第2回 「館林城主榊原家3代と女性たち」

■ 講座終了後に、構成文化財・館林市指定史跡「榊原忠次の母祥室院殿の墓」の墓参と解説を行います。

- ・日時=令和5年6月18日(日) 14:00～15:30
- ・会場=館林市当郷町 善長寺 ※現地集合
- ・講師=館林市史編さんセンター 岡屋 紀子
- ・参加費=500円(資料代ほか)



## 第3回 「館林城絵馬と絵図で読み解く館林城の変遷」

■ 講座終了後に、館林城本丸周辺の城跡の見学と解説を行います。

- ・日時=令和5年7月17日(月・祝) 14:00～15:30
- ・会場=館林市尾曳町 尾曳稲荷神社 ※現地集合
- ・講師=館林市史編さんセンター 井坂 優斗
- ・参加費=500円(資料代ほか)



### 【共通事項】

主催 = 館林市・館林市教育委員会・館林市「日本遺産」推進協議会

問合せ = 館林市教育委員会文化振興課日本遺産推進係 TEL0276-71-4111



SATO-NUMA.JP

# 「徳川四天王榊原康政公ゆかり 館林まちあるきマップ」配布

## <概要>

文化振興課市史編さんセンターでは、この度「徳川四天王榊原康政公ゆかり 館林まちあるきマップ」を作成しました。

今回作成したマップは館林市内の榊原康政ゆかりの地(善導寺、善長寺、遍照寺、茂林寺、龍興寺、つつじが岡公園など)を示したもので、ゆかりの地それぞれの解説も掲載しました。

また、『館林市史』を元にして榊原康政の経歴を紹介し、徳川家臣としての活躍、館林城主としての功績、略年譜、康政以後の榊原家とゆかりの地について解説しています。

このマップがあれば榊原康政について改めて理解し、ゆかりの地をめぐることができます。市民や観光客など多くの方に手に取っていただき、榊原康政と館林市との関係と今も残るゆかりの地を知っていただければと思います。

## <榊原康政と館林>

近世初代館林城主である榊原康政は、徳川家康に仕え、酒井忠次・本多忠勝・井伊直政とともに多くの功績をあげて徳川四天王と称されました。家康が関東に入封した天正 18 年(1590)、康政は館林10万石の城主となり、領内総検知や館林城整備などを行いました。

市内には「善導寺(榊原康政の墓)」や「長良神社と館林城下町の総構え」など、榊原康政に関連する日本遺産「里沼」構成文化財もあります。康政は守りの沼・城沼を活かしたまちづくりをして、沼と一体となった館林城を治めました。

また、榊原康政は現在放送中の NHK 大河ドラマ「どうする家康」でも徳川家康の側近として活躍が描かれており、改めて注目されています。また、NHK 前橋放送局が大河ドラマ「どうする家康」関連企画として「ぐんま巡り」スタンプラリーを開催しており、館林市内の榊原康政関連スポットもスタンプ設置場所となるなど、群馬県内でも盛り上がりを見せています。

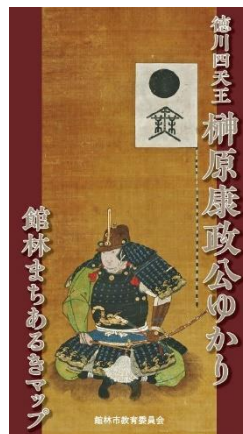
**配布開始日(予定):令和5年5月15日**

発行部数:1万部

規格:A3(蛇腹四山・二つ折)

色:フルカラー

配布場所:文化会館、第一資料館、市史編さんセンター(第二資料館内)、田山花袋記念文学館、市立図書館、つつじ映像学習館ほか



(表紙)



(内容イメージ)

本件についての連絡先:館林市教育委員会文化振興課市史編さんセンター

TEL 0276-76-7651 E-Mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp